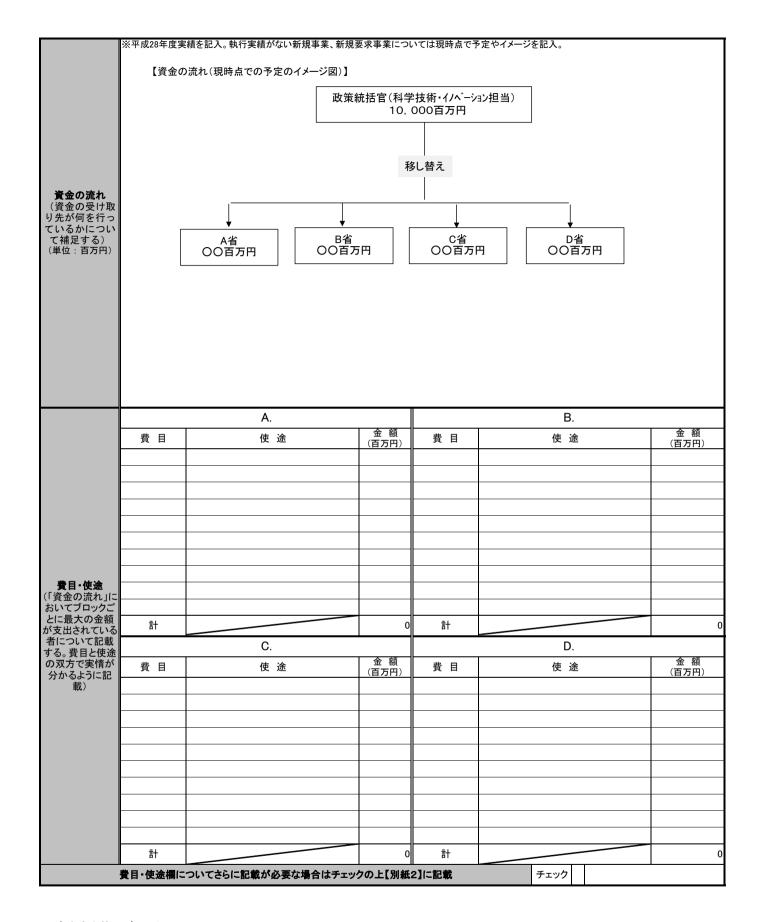
## 事業番号 新30 - 0003

			775	<b>-</b>	0 F + 5		<del>- 4</del> 14 .	1 %		•		<b>Ě番号</b>			000	ა	
					9年度行	丁以				シート 女策統括官(		・イノベード		閣府	**		<u>)                                    </u>
事業名	官民研	究開発投資拡大			SM)		担当音	<b>移局厅</b>		旦当)	11 1 1				作月	責任者	
事業開始年度	平月	は30年度	事業終"	年度	終了予定7	なし	担当	課室	1	企画官(予算	<b>『システ</b> 』	改革担当	当)	武田	憲昌		
会計区分	一般含	会計															
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法第4条及び第26条					関係する計画、 通知等											
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要	経費	文教及び科学振興											
	簡 高いターゲット領域への各府省施策の誘導、各府省施策の加速等、産業界からの評価の高い戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)型マネジメントの																
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	ともに 〇 の 〇 な 日 日 日 日 日 ま り 連 す ・ 加 速 す	式で研究用発生、 評価した上で、 定された施域でした。 でいい領域でした。 でされた施策に できものと終	対象施策を こついては、 とに推進費の こついては、3	選定。選 予算編成 配分や 3年目に	定された施策 は過程において 評価等に強い ステージゲー	につい で適切な 権限を ト方式/	では、推選 は予算措置 持った領域 こよる評価	性費を活 が講じ 或統括を を実施	5用しられ、 を指名 。領 <sup>は</sup>	て事業費の るよう経済財 名し、関連施 或統括を中心	一部を内 政諮問会 策の連携	閣府から扱議、財務€ を促すとと	処出。 当等と選 もに、名	連携。 S施策の	効率的	]•効果的	実施を
天旭刀丛	旦汉之	そ心、(の)心															
	_		hete:	26	年度		27年度			28年度		29年	度		30	年度要才	<b>ऐ</b>
		当初予算 -			-			_					10,000				
	補正予算   予算 前年度から繰越し										_			_			
	の状	の状型作用へ繰越し															
予算額 · 執行額	況   <u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>				_		_	_				_	_				
(単位:百万円)		計	,		0		0		0			0				10,000	
	執行額				0	0				0				_		10,000	
	執行率(%)				_												
	る執行額の割合(%)		00 F F			- 30年度要求			-		主な増減理由						
平成29·30年度 予算内訳	歳出予算目 29年 科学技術イノベーション創 造推進費(内数)			29年度	当初予算	10,000		「新しい日本のための優先課題推進枠」7,500									
(単位:百万円)	計		<i>x</i> ,	_		10.000											
	定量的な成果目標		目標	成果指標			10,000	単位	Ī.	26年度	27年度	ξ 28:	年度	中間	目標年度	目標最	終年度 年度
成果目標及び 成果実績							成果実績	_		-	-		_		十尺	_	十尺
(アウトカム)						目標値	I		-	-		-	-		-	-	
						達成度	%		-	-		-	-			-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-																
成果目標	界及び	成果実績(ア	ウトカム)欄	につい	てさらに記載	が必要	要な場合に	はチェッ	ックの	0上【別紙1	】に記載		チェ	ック			
定定量的な目標		定量	量的な目標が	が設定で	できない理由			定性的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績									
置した。 が設定できな定い理由を成果目 性的な成果目標の を	するも (毎年	業は、各府省の の。評価につ 11月頃に決定 とから、本事: 誰。	いては、追 e予定)の個	加予算 別の成	を配分する対果目標をもつ	付象とた って行	ょる事業うことに	_									
		代替目標			代替指標			単位	Ī.	26年度	27年度	28	年度	中間	目標年度	目標最	終年度 年度
が 事業の妥当性   事業の妥当性   を検証するた   めの代替的な	٠,٠	2 Mr. 4: == · · ·	7.1.7				実績	-		-	-		-	-		-	-
を検証するための代替的な 達成目標及び 実績	なる事業の成果		}する対象と 具目標の達 同左				目標値	-		-	-		-	-		_	-
	成状》	兀				達成度	%	1	-	-		-	-		-	-	
									L					<u> </u>	ļ		

				_						
活動	)指標:	及び	活動指標		単位	26年月	度 27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
活動実績 (アウトプット)		續	対象施策数	活動実績	数	_	-	-	-	
				当初見込み	数	-	-	-	-	-
単位当たり コスト			算出根拠	単位当たり	単位	26年月		28年度	29年月	度活動見込
			(必要な経費)/(対象施策数)	コスト	百万円	-	-	_		_
			(必女は社員// (対象心束数/	計算式	経費/対象 施策数	-	-	-		-
		政策	_				<u> </u>	ı		
		施策	_							
	- Tab-		定量的指標		単位	26年月	度 27年度	28年度	中間目標	目標年度
政策評	政策評	測定指		実績値	_	_	_	_	<u> </u>	- 一
評価、	価	指標	_							
経済				目標値	-	_		-	-	-
· 財			本事業の	成果と上位	拉施策・測	定指標と	の関係			
政再生		-								
生アク		改革	分野: -							
ソショ		項目	KPI			計画開始	台時		中間目標	目標最終年度
ン・	アクション・プロン経済・財政再	第 <sub>K</sub>	(第一階層)		単位	- <b>4</b>	28年度 F度	29年度	- 年度	- 年度
プロ		一 階,		成果実績	-	-	-	-	-	-
ログラムと		層・	_	目標値 達成度	- %	_			-	
ムとの			KPI (第二階層)		単位	計画開始	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
関係		<u> </u>	(昻—咱厝)	成果実績	_	- £	F度	_	- 年度	年度
床		P								
床	グ生ラ	一階 居	_	目標値	-	-	-	-	-	-
球	グ生	PE 1	_	達成度	%	-	-	-	-	-
(水)	グ生ラ	PE 1			%	-	-			
irk .	グ生ラ	PE 1	- 本事業	達成度	%	-	-			
iPR	グ生ラ	PE 1	- 本事業 事業所管	達成度	% 数革項目:	- KPIとの	-			
10余	グ生ラ	PE 1		達成度	% 改革項目・ る <b>点検・</b> で	- KPIとの	-		-	
OK.	グ生ラ	PE 1	事業所管	達成度	% 改革項目・ る <b>点検・</b> で	- KPIとの <b>牧善</b>	男係	子 評価に関 円経済の違 <sub>履</sub>	する説明	
	グ生	<b>層</b> I	事業所管	達成度	% 改革項目・ る <b>点検・</b> で	- KPIとの <b>牧善</b> 本シ L	- 関係 事業は、600兆 ョンを活性化す て実施するもの	評価に関 円経済の達成るため、官民。その決定に	する説明 ないでは、科学ので、対象を表現では、	- 学技術イノベー その拡大を目的 産業界と緊密な
	グ生	<b>層</b> I	<b>事業所管</b> 項 目	達成度	% 改革項目・ る <b>点検・</b> で	大 KPIとの 本	- 関係 事業は、600兆 ョンを活性化す て実施するもの 携の下、CSTIが	評価に関 円経済の達成 るため、官民 。その決定に 《行うこととな	する説明 対に向け、科学 研究開発投資 当たっては、 っており、ニー	ー 学技術イノベー その拡大を目的 産業界と緊密な ーズを反映した
国費投入の	事業の	の目的	<b>事業所管</b> 項 目	達成度	% 改革項目・ る <b>点検・</b> で	下 (	事業は、600兆 ョン実施するもの ・ 携の下、CSTIが 。 事業は、関係省 替えのうえ、一位	評価に関	する説明 対に向け、科学 研究のでは、大学 のでおり、ニー る施策に対して るるにととして いることとして	学技術イノベー を を業界と緊密な 一ズを反映した。 、内閣府から移 いる。そのため、
国費投入の必	事業の	の目的	<b>事業所管</b> 項 目 	達成度	% 改革項目・ る <b>点検・</b> で	下 KPIとの A か A か L I I I I I I I I I I I I I I I I I I	事業は、600兆 事業は、600兆 で実施するもの も携の下、CSTIが 。 事業は、関係後 で内閣府・関係 200兆円経済を実	評価に関連を 一型を対しています。 一定をはなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	する説明 ない はい	学技術イノベート 資の業界と緊密を で業を反映した。 、内閣府から移 いる。そのため、 ある。 ンである科学技
国費投入の必要	ず 集	の目的自治体目的の	<b>事業所管</b> 項 目 	達成度	% 数革項目・	大PIとの 大PIとの 本シし 道の、本し 国 Gi 祈いし	事業は、600兆 事業は、600兆 で実施するもの 護携の下、CSTIが 。 事業は、関係省 で入り、関係 でイノベ開発 でのの兆円経済シ資金 でインベ開発 でのの第一のでは、 のの北の開発 でのののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価に関連民になるそのにが成立を持ちます。 「一般なのでは、決ととをできません。 「一のでは、決ととをできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のできまません。」 「一のできままません。」 「一のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	する説明 する説明 け、発は、一 ないのでは、	学技術イノベート その業を関いた で講家と映した 、内閣でののののである。 で誘系CST でででででいる。 でででででである。 でででででいる。
国費投入の必要	グラム 事 地 政事	の目的自治体目的の	事業所管 項 目 は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 、民間等に委ねることができない事業なのか。	達成度	% 数革項目・	大PIとの 大PIとの 本シし 道の、本し 国 Gi 祈いし	事業は、600兆 事業は、600兆 事業を活性化すって 護療の下、CSTIが 。 事業は、関係係を は、関係を は、関係を は、で がの兆円経ション がの兆円経ション が研究開発投資	評価に関連民になるそのにが成立を持ちます。 「一般なのでは、決ととをできません。 「一のでは、決ととをできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のできまません。」 「一のできままません。」 「一のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	する説明 する説明 け、発は、一 ないのでは、	学技術イノベート その業を反映した。 、内閣である。 、内閣である。 で誘系でいた。 でで誘系でいた。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でいる。 でいる。
国費投入の必要	グラム 事 地 政事	で 自 自 的 体 の 確 般	事業所管項 目 は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  、民間等に委ねることができない事業なのか。  達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で保されているなど支出先の選定は妥当か。  競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による	達成度 の成果とこ おんしょう で優先度の	% 数革項目・	大PIとの             本シし頃の本し国 64歳いして	事業は、600兆 事業は、600兆 で実施するもの 護携の下、CSTIが 。 事業は、関係省 で入り、関係 でイノベ開発 でのの兆円経済シ資金 でインベ開発 でのの第一のでは、 のの北の開発 でのののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価に関連民になるそのにが成立を持ちます。 「一般なのでは、決ととをできません。 「一のでは、決ととをできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のできまません。」 「一のできままません。」 「一のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	する説明 する説明 け、発は、一 ないのでは、	学技術イノベート その業を を業を の関係で 、内閣で ある。 ので あるの の が い る。 の の で が い で が い で が い と の の の の の の の の の の の の の の の の の の
国費投入の必要	グラム 事 地 政事	で 自 目か 性 一者 的。	事業所管項 目  「項 目  は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  、民間等に委ねることができない事業なのか。  達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で保されているなど支出先の選定は妥当か。	達成度 の成果とこ おんしょう で優先度の	% 数革項目・	大PIとの             本シし頃の本し国 64歳いして	事業は、600兆 事業は、600兆 で実施するもの 護携の下、CSTIが 。 事業は、関係省 で入り、関係 でイノベ開発 でのの兆円経済シ資金 でインベ開発 でのの第一のでは、 のの北の開発 でのののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価に関連民になるそのにが成立を持ちます。 「一般なのでは、決ととをできません。 「一のでは、決ととをできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のできまません。」 「一のできままません。」 「一のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	する説明 する説明 け、発は、一 ないのでは、	学技術イノベート その業を を業を の関係で 、内閣で ある。 ので あるの の が い る。 の の で が い で が い で が い と の の の の の の の の の の の の の の の の の の
国費投入の必要性	グラム       事       地       政事       競	で 自 目か は 一者 競 ト	事業所管項目 は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 、民間等に委ねることができない事業なのか。 達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で保されているなど支出先の選定は妥当か。 競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による記文は一者応募となったものはないか。	達成度 の成果とこ おんしょう で優先度の	% 数革項目・	大PIとの             本シし頃の本し国 64歳いして	事業は、600兆 事業は、600兆 で実施するもの 護携の下、CSTIが 。 事業は、関係省 で入り、関係 でイノベ開発 でのの兆円経済シ資金 でインベ開発 でのの第一のでは、 のの北の開発 でのののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価に関連民になるそのにが成立を持ちます。 「一般なのでは、決ととをできません。 「一のでは、決ととをできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のできまません。」 「一のできままません。」 「一のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	する説明 する説明 け、発は、一 ないのでは、	学技術イノベート その業を関いた で講家と映した 、内閣でののののである。 で誘系CST でででででいる。 でででででである。 でででででいる。
国費投入の必要	グラム     事     地     政事     競     受	<b>で層)</b> 一  一  一  一  一  一  一  一  一  一  一  一  一	事業所管項 目  「項 目  は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。  、民間等に委ねることができない事業なのか。  達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で保されているなど支出先の選定は妥当か。  競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による に又は一者応募となったものはないか。  生のない随意契約となったものはないか。	達成度 の成果とこ おんしょう で優先度の	% 数革項目・	下 KPIとの	事業は、600兆 事業は、600兆 で実施するもの 護携の下、CSTIが 。 事業は、関係省 で入り、関係 でイノベ開発 でのの兆円経済シ資金 でインベ開発 でのの第一のでは、 のの北の開発 でのののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	評価に関連民になるそのにが成立を持ちます。 「一般なのでは、決ととをできません。 「一のでは、決ととをできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のでは、大きなできません。」 「一のできまません。」 「一のできままません。」 「一のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	する説明 する説明 け、発は、一 ないのでは、	学技術イノベート その業を関いた。 大の関係である。 大の表のの一次で誘発に対している。 で誘発によりでは、 大のでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 とのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 たのでは、 とのでも。 とのをも。 とのも。 とのも。 と。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。 とのも。

性											
吐	費目・使途だ	が事業目的に即し真に必	必要なものに限定されているか。	-							
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-							
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-							
	その他コスト	・削減や効率化に向け <i>た</i>	<b>-工夫は行われているか</b> 。	-							
	成果実績は	成果目標に見合ったもの	のとなっているか。	-							
事業の有		当たって他の手段・方法 低コストで実施できてい	ま等が考えられる場合、それと比較してより効果 るか。	-							
効性	活動実績は	見込みに見合ったもの	であるか。	-							
	整備された	施設や成果物は十分に	活用されているか。	-							
	関連する事: 割分担の具	業がある場合、他部局・ 体的な内容を各事業の	他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 右に記載)	_							
	所管府省名	事業番号	事業名								
関連											
事											
業											
					<u> </u>						
点検・	点検結果	:									
改											
善結果	改善の 方向性										
			外部有識者の所!								
			行政事業レビュー推進チ−	-ムの所見	₹						
	İ										
	ļ										
			所見を踏まえた改善点/概算要求	における」	<b>反映状況</b>						
L											
	備考										
			関連する過去のレビューシート	の事業番	무						
平	成22年度	-	平成23年度 -		平成24年度 -						
平	成25年度	_	平成26年度 -		平成27年度 -						
	成28年度	_									
	1%20十1又										



## 支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載	チェック	7	
--	------	---	--

## 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	<sup>*ロック</sup> 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		_	-	_	-		-	-	_